



# 大阪府済生会千里病院 地域支援センター 地域医療連絡室だより

編集・発行

済生会千里病院 地域支援センター

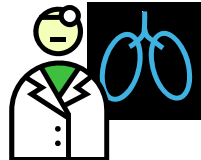
地域医療連絡室

〒565-0862

吹田市津雲台 1-1-6

TEL 0120-115-031 (登録医専用)

FAX 06-6871-5915



## 呼吸器内科のご紹介

### 医師のご紹介



呼吸器内科部長 船越 俊幹

名前	専門	資格
船越 俊幹	肺癌 一般呼吸器臨床	日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会指導医 日本呼吸内視鏡学会指導医 日本臨床細胞診学会指導医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医
古川 貢	肺癌 一般呼吸器臨床	日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医 日本臨床腫瘍学会専門医
鈴木真由美	びまん性肺疾患 一般呼吸器臨床	日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医
レジデント 美馬 尚徳	一般呼吸器臨床	

### 地域の先生方へ

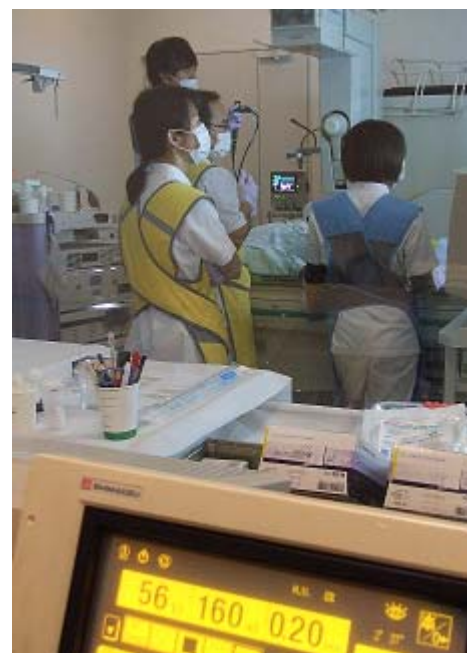
大阪府済生会千里病院呼吸器内科は上記のように常勤3名とレジデント1名の計4名にて臨床活動に携わっています。感染性肺炎や気管支喘息など一般呼吸器臨床に対応しておりますが、肺癌・間質性肺炎など呼吸器内科専門ならではの難治性疾患の割合が多くなっています。特に上記難治性疾患では、阪大病院よりの紹介が多く、阪大病院呼吸器・アレルギー内科との連携を強化しています。

肺癌においては、当院ががん拠点病院であることもあり、最新の抗癌剤療法をすばやく取り入れて安全にかつ効果的に投与するように心がけております。最近では肺癌領域でも分子標的薬の使用が多く、中心的な治療の一部を担っていると言っても過言ではありません。また阪大病院よりの治験を請け負い、よりよい抗癌剤使用を発信できるように目指しています。

気管支鏡検査は週2回施行しており、肺癌疑いの小さな結節に対しては透視下の腫瘍生検、間質性肺炎には気管支肺胞洗浄など、一般に診断の困難な疾患に対しても確定診断をつけるために研鑽しております。

- ・在宅酸素療法(HOT)の導入
- ・非侵襲的人工呼吸器(NPPV)の導入
- ・睡眠時無呼吸症候群の診断と治療(PSG検査・CPAP療法)

など、当科にて対応いたします。また、コントロールがつかましたら逆紹介いたします。



### 最後に

本年度に日本呼吸器学会・日本呼吸器内視鏡学会の認定施設として申請しており、来年度より認可されると思われま。今後ともこれを機に一層、地域の呼吸器内科診療に貢献したい所存です。何卒よろしく願いいたします。

呼吸器内科部長 船越 俊幹

**第13回 千里臨床カンファレンス 開催**

平成22年6月12日(土) 14:30より、済生会千里病院東館3階研修室において開催されました。  
開業医の先生方をはじめ、当院職員も合わせて20名のご参加をいただきました。

**【症例検討1】**

『最近の肺がん治療について』

呼吸器内科部長 船越 俊幹

**【症例検討2】**

『乳癌に対する手術および化学内分泌療法について』

乳腺内分泌外科部長 北條 茂幸

**第17回 吹田糖尿病連携ネットワーク 開催**

平成22年7月15日(木) 18:00より、済生会千里病院東館3階講堂において開催されました。

本会は、吹田市糖尿病医療の発展と、各医療機関の連携・機能分化の推進を目的とし、症例検討会を中心とした勉強会となっています。

済生会千里病院・済生会吹田病院・市立吹田市民病院と開業医の先生方が中心となり、コ・メディカルを交え年3回開催しています。

今回は、開業医の先生方をはじめ、当院職員合わせて45名のご参加をいただきました。



糖尿病内科部長 鈴木正昭

**【症例発表1】**

『各経口糖尿病治療薬の位置づけ』

糖尿病内科部長 鈴木 正昭

**【症例発表2】**

『メトリックシントロームと心血管病-その意義と批判的吟味-』

よしまさ内科クリニック 吉政 康直 先生

**【症例発表3】**

『DPP-IV 阻害薬登場による新たな糖尿病治療の幕開け』

済生会吹田病院 診療局長 朴 孝憲 先生

講演後には、講演内容や糖尿病地域連携パスも含め、活発な意見交換が交わされました。

次回開催は11月を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。



朴 孝憲先生

**第9回 大腿骨頸部骨折地域連携パス合同検討会 開催**

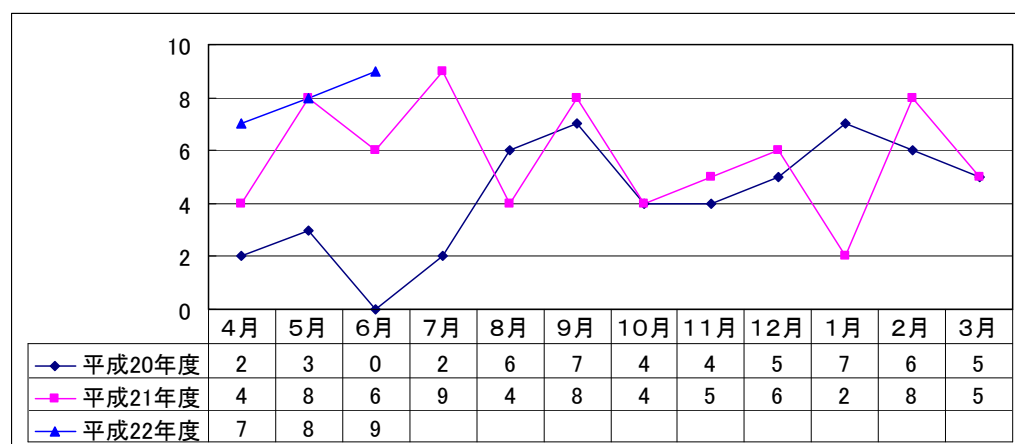
平成22年7月29日(木) 18時より、千里阪急ホテルにおいて開催されました。

連携先医療機関7施設、済生会千里病院職員を合わせて45名のご参加をいただきました。

定例の症例報告の他に、前会議での課題についての報告。また、連携先医療機関より済生会千里病院への要望も確認し、活発な意見が交わされました。本会議も3年目を迎え、連携先医療機関も当初の3施設から7施設に増えました。今後もスムーズな連携を進めるにあたり、マニュアルの改訂も検討中です。

検討会の後の懇親会では、和やかな雰囲気での交流を深めました。

**『大腿骨頸部骨折地域連携パス発生推移』**



合同検討会 会場にて



懇親会 会場にて

